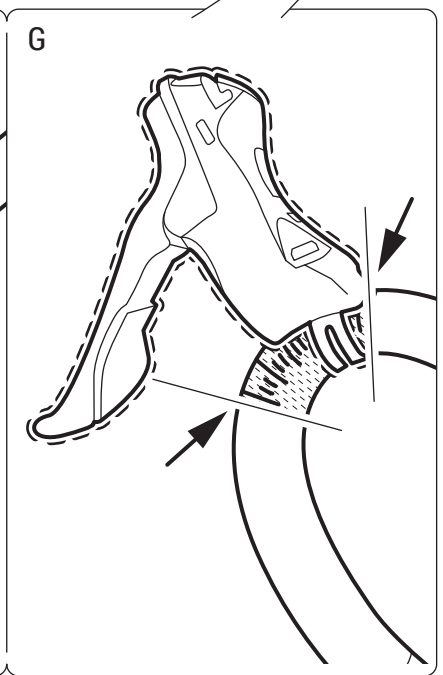
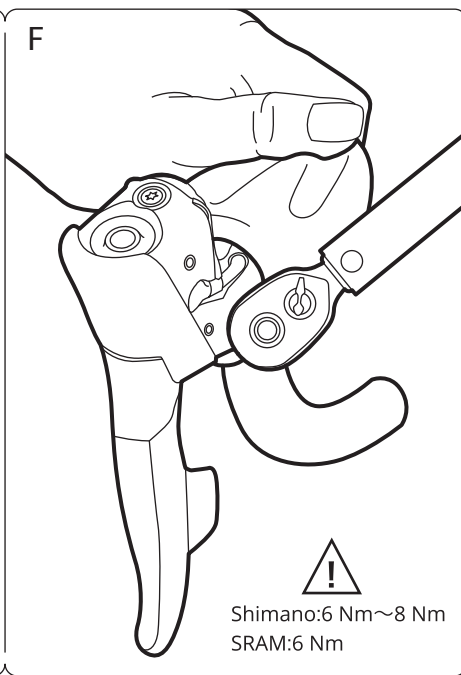
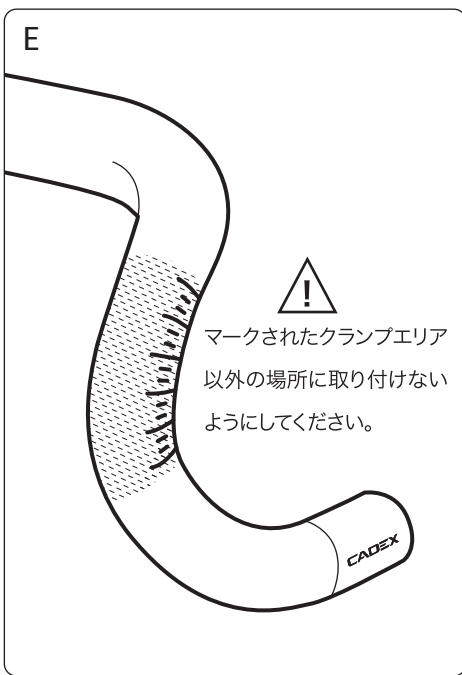
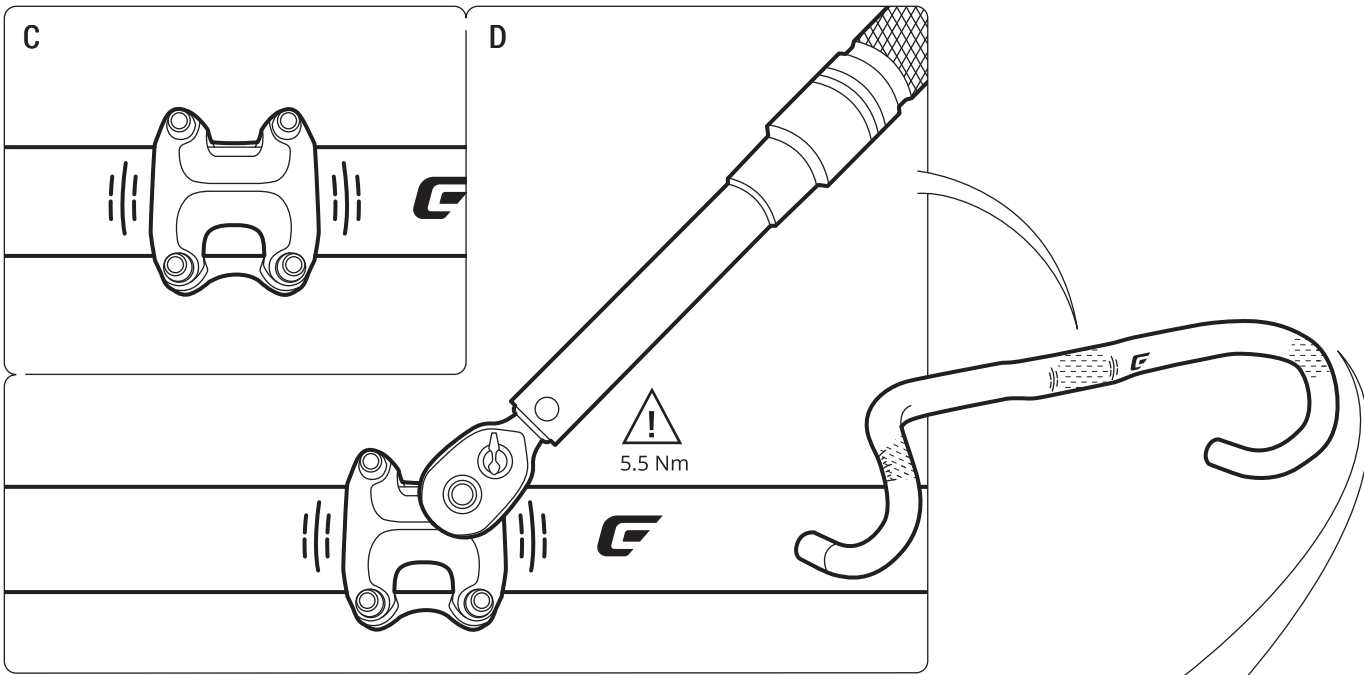
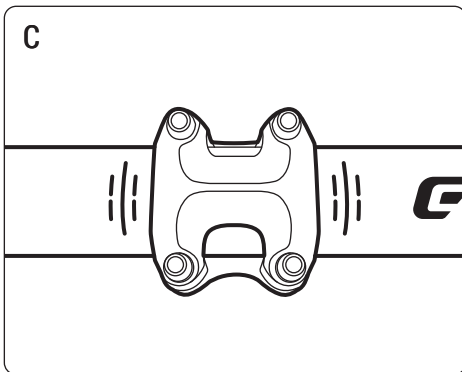
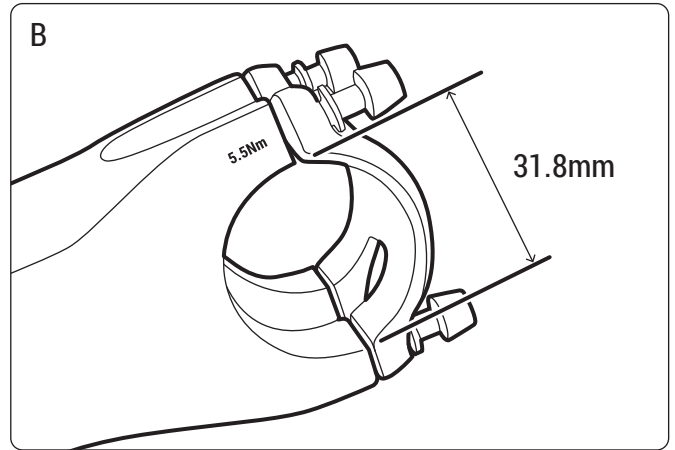


**CADEX**

# CADEXハンドルバー



## はじめに

CADEXハンドルバーをお選びいただき、ありがとうございます。CADEXハンドルバーは、レースやロングライドにおいてお客様の目標達成に必要なパフォーマンスを提供する、精密に設計された革新的なデザインの自転車用ハンドルバーです。

以下の手順に従うことにより、性能を最大限に引き出します。

ハンドルバーまたは本マニュアルの内容に関するご質問がある場合は、お近くのCADEX正規販売店にお問い合わせ下さい。

## 製品登録 <5年間の破損交換プログラム>

購入日から8週間以内にハンドルバーにあるQRコード(図A)をスキャンして、新しいCADEX製品を登録していただきますと、5年間の破損交換プログラムがご利用可能となります。登録されたお客様は、お買い上げいただいたCADEX製品が破損した場合、破損製品の返品を条件に同じ製品の新品を希望小売価格の50%割引で購入することができます。

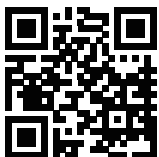
詳細については、<https://www.cadex-cycling.com/global/productregistration>にアクセスしてください。



## 重要

本マニュアルには、安全性、性能および修理に関する重要な情報が含まれます。ハンドルバーを取り付ける前、または、初めて乗車前に本マニュアルが提供する情報をよくお読みください。なお、本マニュアルをいつでも参照できるように大切に保管してください。下記HPにて最新情報を随時更新していきますので、ご確認ください。

[www.cadex-cycling.com](http://www.cadex-cycling.com)



## 組み付け方法

軽量素材を使用し、非常に厳しい公差を持っているため、プロフェッショナルによる組み付けが必要です。

CADEXハンドルバーの組み付けは、必ず自転車整備士がトルクレンチを使って適切なトルク値で組み付けしてください。

**警告:** 指定されたトルク値で締め付けないと、予期しない動きが発生したり、ハンドルバーが破損し、重大な事故や死亡するおそれがあります。

## 使用目的

CADEXハンドルバーは、ロード、グラベル、シクロクロスなど、通常のライディングやレースでの使用を想定して設計されています。フリーライディング、ダートジャンプなどの過激な使用には適していません。

**警告:CADEXハンドルバーが衝突や事故、他の大きな衝撃を受けた後は、CADEX正規代理店に点検を依頼し、必要に応じて交換してください。**

CADEXハンドルバーから軋みやクラッキングノイズが発生する場合、または、切れ目、亀裂、へこみ、変色などの外観上の損傷が見られた場合は、直ちに使用を中止し、CADEX正規代理店に連絡して、点検を行い、必要に応じて交換してください。

安全上の理由から、カーボン製品は絶対に修理してはいけません。破損したカーボン製品は直ちに交換してください。

## 組み付け

ハンドルバークランプ:31.8 mm

1. 使用するステムのクランプサイズが適切であることを確認します。(図B)
2. ハンドルバーに輸送中に発生した傷や穴がないか点検してください。これらの損傷により、損傷部に応力が集中し、部品の早期破損の原因や重大な怪我または死亡するおそれがあります。
3. ステムクランプやフェイスプレートのバリや突起がないか点検してください。これは、組み付けまたは調整中に、ハンドルバーに傷または穴を生じさせる可能性があります。発見した場合は細目のやすりまたは紙やすりを使用して取り除いてください。バリや突起による損傷は、損傷部に応力が集中し、部品の早期破損や重大な怪我または死亡するおそれがあります。
4. ハンドルバー上のインジケータを使用して、ハンドルバーをステムクランプの中心に合わせ、お好みに合わせて位置を調整します。(図C)
5. フェイスプレートのネジをメーカー推奨トルクまで締め付けます。(図D)  
**警告:5.5 Nmを超えないようにしてください。**
6. シフター、ブレーキレバー装着部に汚れやグリースがないことを確認してください。
7. ハンドルバー上にシフター、ブレーキレバーをスライドさせて、所定の位置に取り付けます。
8. バーの上のマイクロアジャストインジケータを使用して、シフター、ブレーキレバーをお好みの位置に調整します。(図E)
9. シフター、ブレーキレバーのクランプ固定ボルトをメーカーの推奨トルク値で締め付けます。(Shimanoの場合は6 Nm~8 Nm、SRAMの場合は6 Nmです)。(図F)  
**警告:シフター、ブレーキレバーのクランプを締め付け過ぎないようにしてください。  
マークされたクランプエリア以外の場所に取り付けないようにしてください。(図G)**
10. ハンドルバーのテープとエンドプラグを取り付けます。

## メンテナンスと清掃

ハンドルバーの破損がないか時折点検してください。清掃する場合は、柔らかい布と研磨剤を含まないクリーナーを使って拭いてください。

汗から生じる塩分が、シフター、ブレーキレバーのクランプを腐食する可能性がありますので、シーズンごとにハンドルバーのテープを交換してください。また、テープを交換する際にはハンドルバーを点検してください。